

きたきた通信

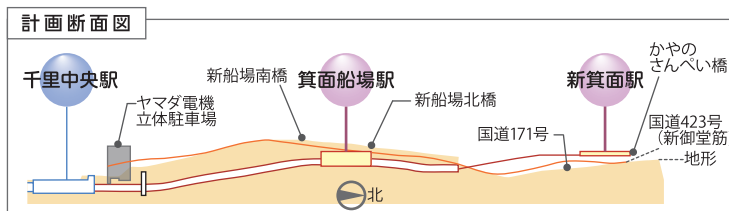
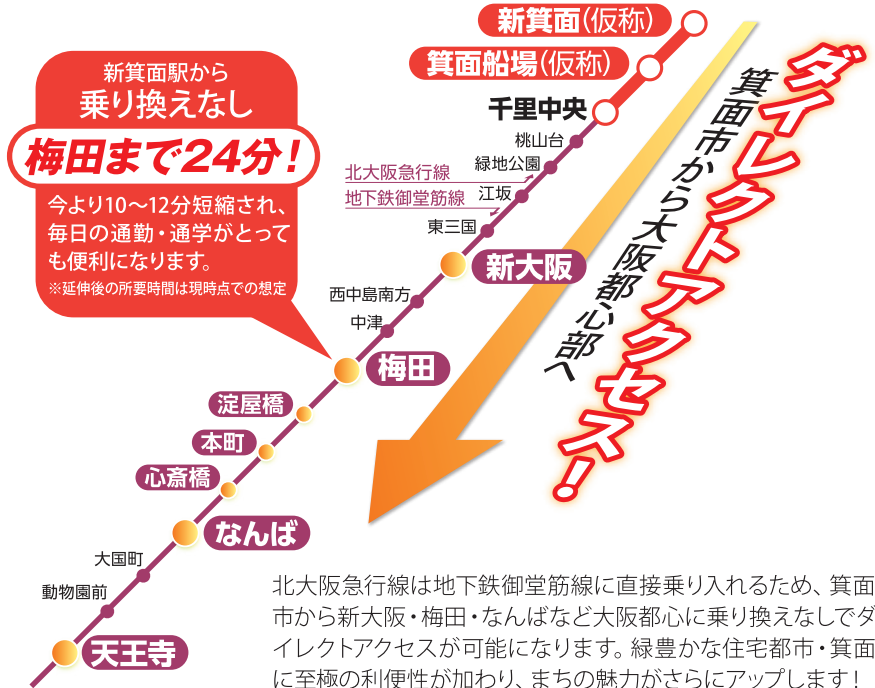
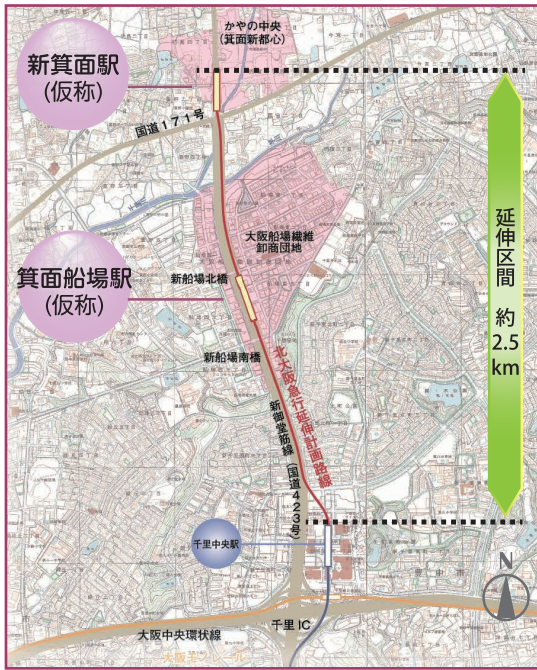
No.
18



本パンフレット中、新駅の名称はすべて仮称です

北大阪急行線延伸工事、いよいよ始動！

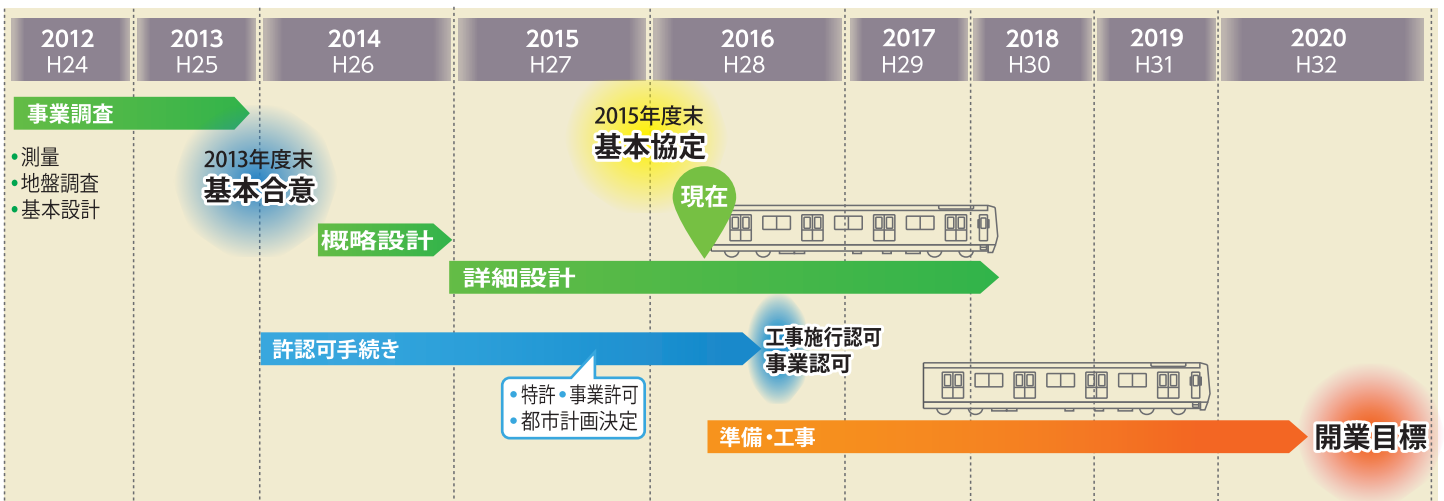
北大阪急行線を現在の千里中央駅から北へ2.5km延伸し、新駅を2つ作る“北大阪急行線延伸事業”は、平成28年3月、関係4者により基本協定を締結しました。今秋からいよいよ工事に着手します。



かやの中央周辺(中部)→梅田		梅田まで 10～12 分短縮！	
これまで	バス11分 乗換5分 車4分 乗換10分	千里中央	計36分 計34分
延伸後は	新箕面	鉄道24分	計24分

開業目標2020年度！

各種手続きが進められています



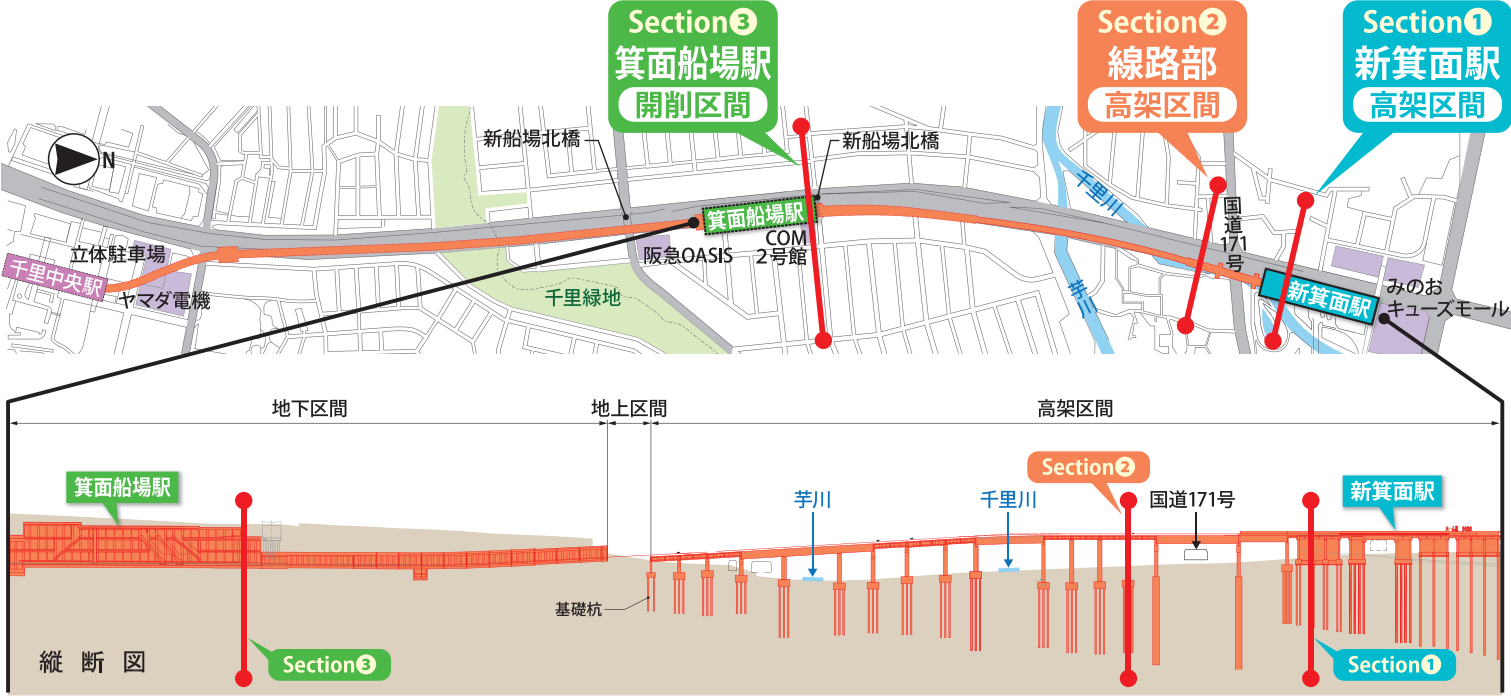
開業に向けた工事の進行イメージ

平成32年度(2020年度)の開業を目標に、平成28年(2016年)8月には準備工事を始め、同年秋ごろに鉄道本体工事に着手します。
準備工事は、市営かやの中央駐車場の解体と、国道423号沿いでガス管や水道管などの移設工事を実施します。本体工事は、箕面市が施工する(仮称)新箕面駅から(仮称)箕面船場駅までの区間においては、平成28年(2016年)秋ごろからほぼ同時並行で複数の工事を進めていきます。
平成30年(2018年)頃からは、北大阪急行電鉄(株)が軌道(レール)敷設や電気工事、駅舎の建築などを行います。

延伸に必要な手続きを進めています

鉄道事業法と軌道法の工事施行認可申請	都市計画手続き
延伸事業で整備する鉄道・軌道施設については、工事の起点・終点、トンネルや高架橋等の構造形式や施設規模等を記載した詳細な工事計画を定め、国土交通大臣より認可を受ける必要があります。	延伸事業で整備する鉄道などの都市施設は、都市計画決定により法的に位置付けられました。事業の開始にあたっては大阪府知事より認可を受ける必要があります。
平成27年12月25日 北大阪急行電鉄(株)が国土交通大臣から鉄道事業法に基づく鉄道事業の許可と、軌道法に基づく特許を取得	平成27年12月10日 大阪府及び箕面市が延伸線の都市計画決定を告示
平成28年4月15日 北大阪急行電鉄(株)が国土交通大臣宛てに、鉄道事業法及び軌道法に基づく工事施行認可を申請	平成28年7月27日 北大阪急行電鉄(株)と箕面市が大阪府知事宛てに、都市計画事業認可を申請
▶ 平成28年8月末に認可を取得できるよう手続きを進めています。	▶ 平成28年8月末に認可を取得できるよう手続きを進めています。

9月頃から(仮称)箕面船場駅から(仮称)新箕面駅にかけての新御堂筋沿いで、水道管やガス管など地下埋設物をあらかじめ移設し、延伸工事に必要な地下空間を確保します。



	平成28～29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
Section 1 新箕面駅 高架区間	● 工事用スペースを確保する ● 基礎杭をつくる	● 橋脚をつくる	● 橋桁をつくる	● 線路をひく ● 駅舎をつくる ● 道路を復旧する 完成
Section 2 線路部 高架区間	● 工事用スペースを確保する ● 仮の川に切り替える ● 基礎杭をつくる	● 橋脚をつくる	● 橋桁をつくる	● 線路をひく ● 千里川を復旧する ● 道路を復旧する 完成
Section 3 箕面船場駅 開削区間	● 工事用スペースを確保する ● 土留め壁をつくる	● 鉄板を敷く ● 土を掘る	● 土を掘る ● 駅をつくる	● 土を埋める ● 出入口をつくる ● 道路を復旧する ● 線路をひく ● 駅舎をつくる 完成

新駅周辺も、まち全体も**利便性がアップ!**

箕面船場駅（仮称）

箕面船場駅は地下駅で、地下3階がプラットホームになります。駅出口は国道の東側にできるため、国道をまたぐ歩行者デッキを設置します。

大阪大学 箕面キャンパス移転に かかる正式合意を締結!

大阪大学と箕面市は、大阪大学箕面キャンパスの（仮称）箕面船場駅前への移転について、平成28年4月に正式合意書を締結しました。大阪大学は平成33年春の開校を目指して校舎及び学生寮を整備します。

市立図書館の新築!

市の蔵書11万冊と大阪大学の蔵書60万冊を所蔵する市立図書館を整備します。

市民ホールおよび 市立文化交流施設の 新築!

老朽化したグリーンホールを移転します。現在、施設の規模や運営方法について検討しています。また、会議室、音楽スタジオ等の生涯学習施設を併せて整備します。

❗ 移転するのはホール棟のみで、多くの方にご利用いただいている会議棟は、引き続き現在のまま活用されます。



土地区画整理事業の 本格スタート!

平成26年6月に「箕面船場駅周辺土地区画整理事業準備組合」が発足し、事業計画の作成など検討を進めています。本年夏以降に本組合を設立し、実際に工事がスタートします。

ビジネス拠点としての高い価値を 活かして新たな企業集積を目指す!

船場地域は、箕面市で唯一高いビルが建設できる地域であり、新駅ができることにより得られる高いアクセス性を活かして、新たな企業集積などを目指していきます。



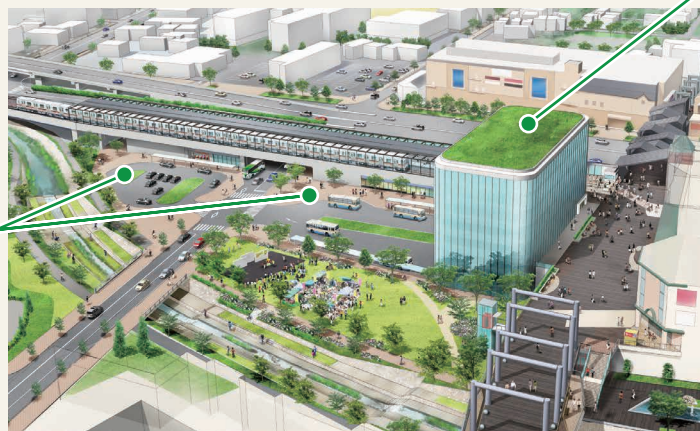
新箕面駅（仮称）

新箕面駅は2階建てで、2階がプラットホームになり、かやの中央の賑わいの中に接続します。



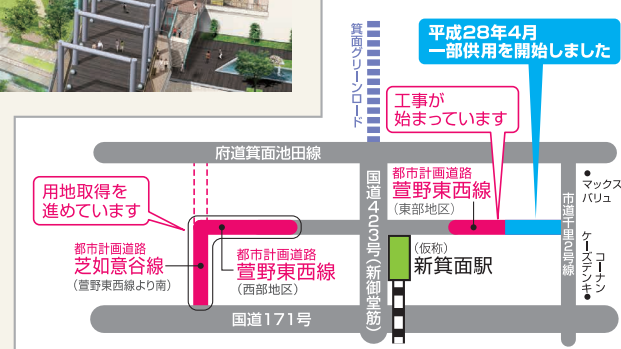
バスターミナル・ タクシー乗り場・ 駐輪場を整備!

新たにバスターミナルやタクシー乗り場、地下駐輪場を整備します。さらに、バス路線の再編により新駅を中心とする充実した市内交通となります。



鉄道延伸後も、 萱野地域の豊かな田園風景を守り育てます!

新駅ができる萱野地域は、市街地に貴重な農地が残る緑豊かなエリアです。箕面市では、鉄道延伸後も、山なみとまちなかの緑を大切にきた箕面を象徴するまちとして、この萱野地域の「身近な緑」を守り育てていく方針です。



集客力のある施設を 整備!

バス乗り場の上空を立体利用して「子育て」を核とした新しい施設を作り、まちの魅力をいっそう引き出します。

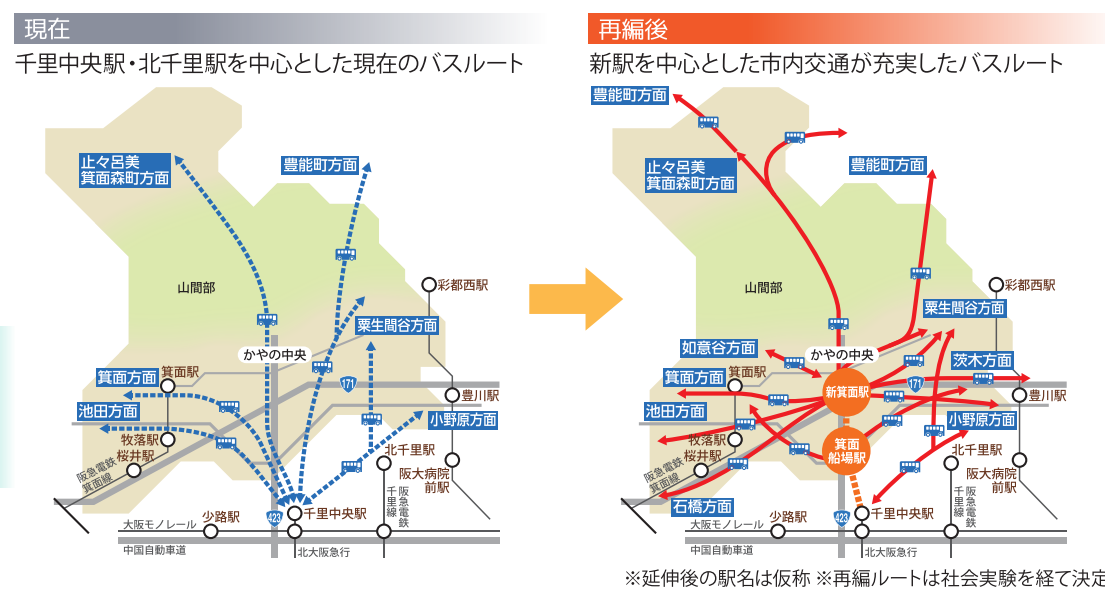
新しい都市計画道路を 整備!

周辺の交通渋滞や住宅地の通り抜けなどを抑制するため、萱野東西線及び芝如意谷線の整備をします。

バス路線が再編され、東西の移動がスムーズに!

バス路線は主に「駅と駅」「住宅街と駅」を結ぶため、延伸により新駅を中心にルートが再編されます。市街地の真ん中に駅ができることにより、東西方向の移動利便性が格段に良くなります。

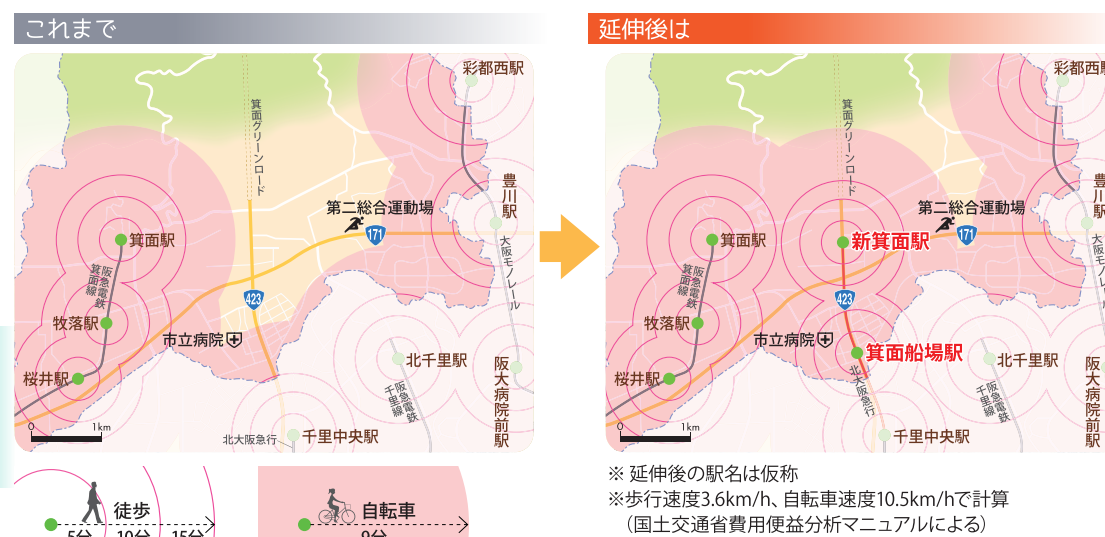
延伸による バス路線再編 のイメージ



駅まで 徒歩 自転車圏が増える!

延伸により、市街地の真ん中に駅が2つできて、駅まで徒歩・自転車で行けるエリアが大幅に増え、市街地の大部分が“駅まで徒歩・自転車圏”になります。

延伸による 徒歩・自転車圏の 広がり イメージ



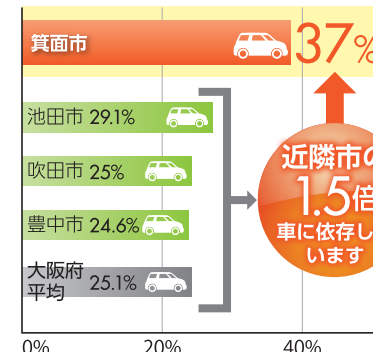
箕面市は自動車依存度が近隣市の1.5倍

箕面市は、市街地が東西に細長いのに鉄道が西部地域にしかなく、東西方向の移動も不便なため、自動車依存度が近隣市に比べて高くなっています。

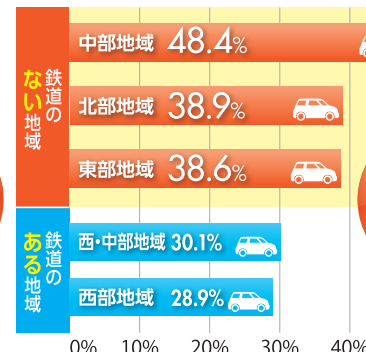
鉄道延伸で、高齢になっても 暮らしやすいまちへ

鉄道とバスの両方が便利になることで自動車への依存度が下がり、高齢のかたも、子どもたちも、誰もが安全で暮らしやすいまちになっていきます。

近隣市との自動車依存度の比較



箕面市内の地域別自動車依存度



延伸がもたらす広域効果 鉄道延伸の効果は、大阪全体にも。

北大阪急行の延伸は 広域的な効果を生む

北大阪急行線の延伸は、約2.5kmの短い距離ですが、北大阪エリア全体の活性化、大阪全体の鉄道ネットワークの形成など、広域的な効果を生む事業として、国と大阪府の計画等に沿って進められています。

北大阪急行線の延伸が位置付けられた 国・大阪府の計画等

国の運輸政策審議会答申第10号

平成元年

国の運輸政策審議会答申第10号（「大阪圏における高速鉄道を中心とする交通網の整備に関する基本計画について」）において、「北大阪急行南北線の延伸線 千里中央～箕面中部」が「目標年次(西暦2005年)までに整備に着手することが適当である区間」と位置付けられました。

国の近畿地方交通審議会答申8号

平成16年

国の近畿地方交通審議会答申第8号（「近畿圏における望ましい交通のあり方について」）において、「京阪神圏において、中長期的に望まれる鉄道ネットワークを構成する新たな路線」として、「北大阪急行南北線延伸 千里中央～箕面船場～新箕面2.5km」が位置付けられました。

「グランドデザイン・大阪」

平成24年

変化し躍動する大阪の今後の方向性と、大都市・大阪の都市空間の姿を示した「グランドデザイン・大阪」（大阪府市統合本部）中、「鉄道ネットワークの充実」の項において、北大阪地域と大阪都心との直結を図る施策として「北急延伸」が位置付けられています。

大阪府「公共交通戦略」

平成26年

大阪府の都市としての魅力向上や府民の暮らしの充実を図る公共交通に関する取り組みの方向性を明示した「公共交通戦略」において、整備について個別の検討に入る路線の一つとして、北大阪急行線の延伸が位置付けられています。

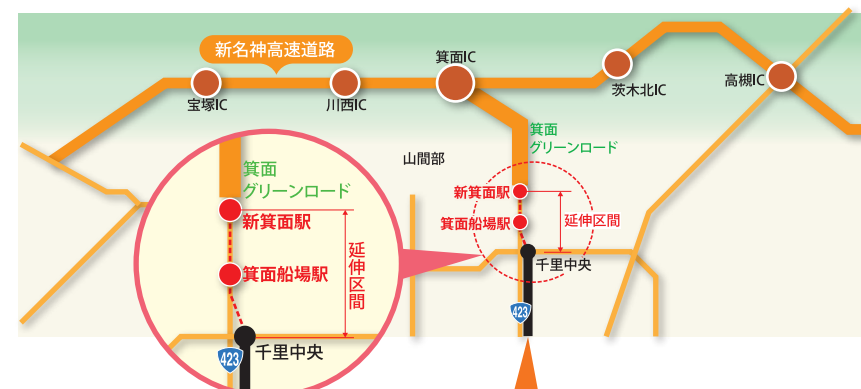
大阪の南北軸の強化

南北に長い大阪は、新幹線や名神・新名神高速道路などの主要な「国土軸」と北大阪地域で接しています。北大阪急行線延伸により大阪の南北軸が強化されることで大阪全体の活性化につながるとともに、北大阪地域は関西北部から関西国際空港へのダイレクト輸送の発火点になります。



新御堂筋の渋滞を緩和

平成28年度に開通する新名神高速道路は、混雑する名神高速道路・中国自動車道を多重化し、東西国土軸を貫く主要ルートの一つとして大きな流れを形成します。多重化される神戸～高槻間には「宝塚」「川西」「箕面」「茨木北」の4つのインターチェンジができますが、このうち大阪都心への広域アクセス道路に接続しているのは「箕面」だけであり、箕面グリーンロードから大阪都心に向けて大きな物流の動きが生まれます。



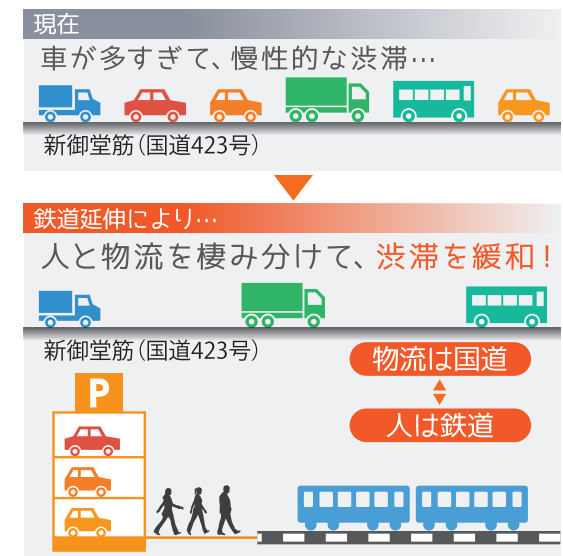
一方、新御堂筋(国道423号)は、現在でも大阪府内ワースト2位の慢性的な渋滞が発生しており、広域アクセスのボトルネックとなります。

国道423号の混雑状況
府内ワースト2位
都心部交通量128,091台
平日混雑度3.25

鉄道で渋滞を緩和

北大阪急行線の延伸は、「人は鉄道」「物流は国道」の棲み分けに貢献し、新御堂筋(国道423号)の渋滞を緩和します。

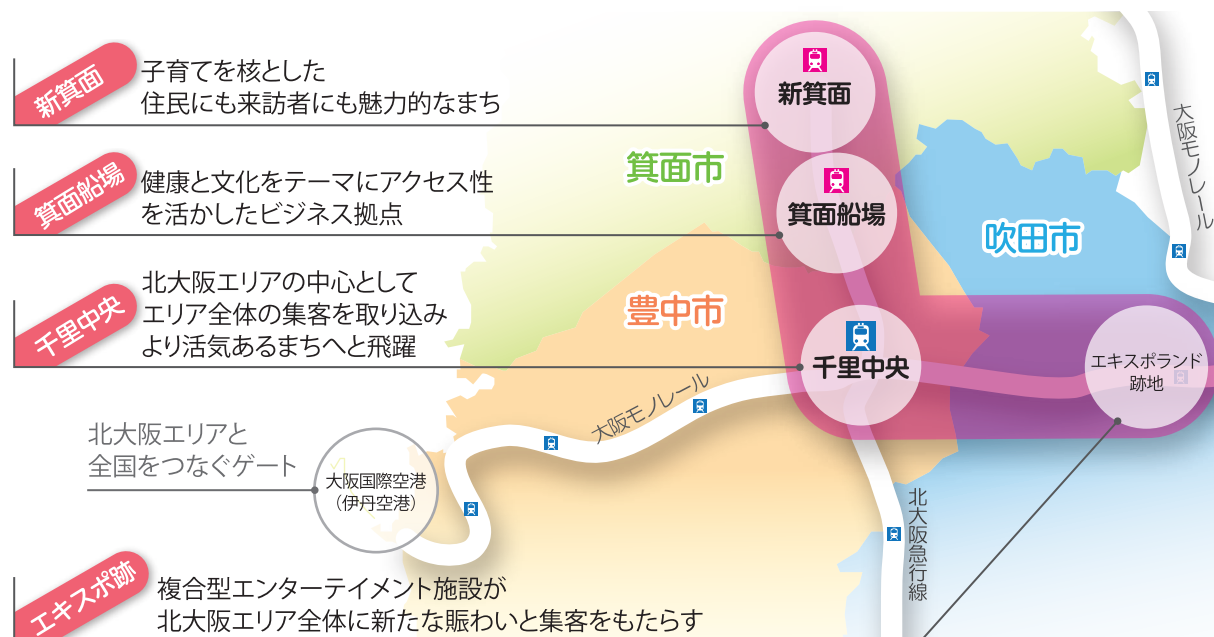
パークアンドライドによる 渋滞緩和のイメージ



北大阪エリア全体の発展をめざして

各駅が機能分担した個性あるまちづくり

それぞれの駅周辺が、地域性や歴史を踏まえた個性あるまちづくりを進め、機能分担していくことで、エリア全体の活性化が期待されます。



北大阪急行線の延伸は、まちづくりと都市交通の再編により、北大阪エリア全体が活気づくきっかけになります。

広域的な都市交通の再編

北大阪急行線の延伸を契機に、新名神高速道路やエキスポランド跡地にできるエンターテインメント施設からの新たな交通需要や、千里中央周辺の交通集中への対応が図られます。

1 既存バス路線の再編

千里中央に集中する路線バス・高速バスなどの一部を新箕面駅へシフトし、鉄道の利用促進と合わせて、新御堂筋の渋滞軽減、千里中央の交通施設機能の再編を図る

2 広域パークアンドライド

新箕面駅において広域パークアンドライドを展開し、鉄道の利用促進を行うことにより、北大阪全体の交通渋滞の緩和を図る

3 駅周辺の交通対策

- 千里中央の交通動線の再編・駐車場の再配置
- 箕面船場駅への歩行者動線の確保と自転車交通対策
- 新箕面駅の新たな交通施設整備と路線バス再編に合わせた公共交通の利用促進

高い経済波及効果！

延伸線は、1日に約42,000人が乗降すると予測されています〔新箕面駅の利用者約14,000人、箕面船場駅の利用者約7,000人で、乗降人数は駅利用者×2（往復分）で算出。（鉄道事業者の需要予測による）〕。また、さまざまな経済波及効果も期待できます。

初期効果
2172億円

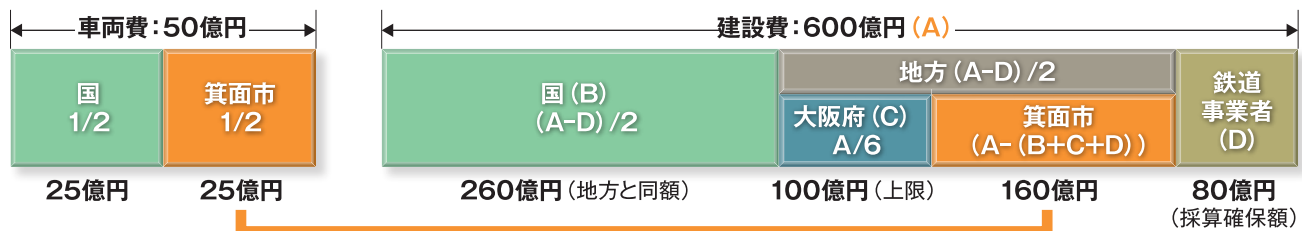
（地価上昇額と工事に伴う経済波及効果）

年間の効果
578億円／年

（商業施設の売上増、税収増など）

市の負担は“北急貯金”と競艇収益金で賄います

現時点で想定されている延伸の事業費は650億円（建設費600億円、車両費50億円）で、そのうち箕面市の負担は185億円です。



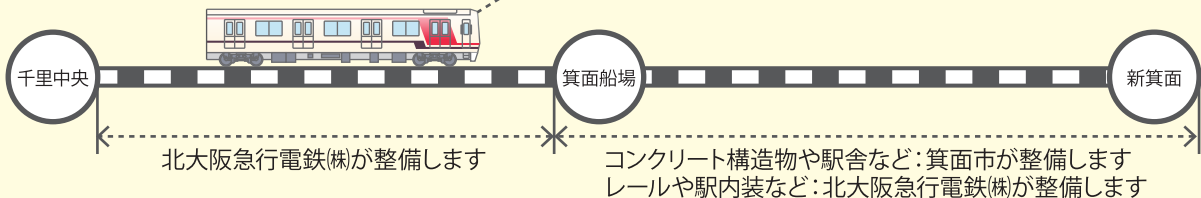
箕面市の負担想定額185億円
“北急貯金”と競艇収益金のみで賄います

関連まちづくりにより
需要予測が伸びる場合は
鉄道事業者は負担を増額

市の負担想定額185億円は、これまで貯めてきた北急延伸基金と、競艇事業からの収益金のみで賄うことができる見通しです。市は、この財源ルールを条例（箕面市財政基本条例）に定め、ずっと守り続けていきます。

延伸線の運行主体と整備体制

電車の運行は、北大阪急行電鉄㈱が行います



市民の皆さまの延伸実現への熱い思いが支えになります！

●寄付のお願い

安全で快適な暮らしを支える鉄道延伸事業を応援していただきたく、賛同いただける皆さまからの寄付をお願い申し上げます。インターネットやコンビニからでも寄付ができます。

なお、5,000円以上のご寄付をいただいた場合は、税控除を受けることができます。

詳しくは

●賛助会員募集！

北大阪急行線延伸推進会議では、北急延伸実現に向けて国や関係者などに働きかけを行っています。

賛同いただける地元自治会など、多くの皆さまに「賛助会員」になっていただきますようお願い申し上げます。

ご賛同いただける団体等ございましたら、推進会議（ページ下お問い合わせ先）までご連絡ください。

出張
説明会
の
ご案内

いつでも説明に伺います

10人程度集まっていれば、計画の内容や現在の進捗状況など、出張して説明させていただきます！お気軽にお問い合わせください。（ページ下お問い合わせ先まで）

北大阪急行線延伸推進会議（構成メンバー）

平成28年6月末現在

構 成 員 箕面市、箕面商工会議所、大阪北部農業協同組合、大阪船場繊維卸商団地協同組合

顧 問 地元選出府議会議員、市議会（議長・副議長・交通対策特別委員会委員長・同副委員長）

オブザーバー 大阪府

支 援 団 体 豊能町、能勢町、川西市、篠山市、猪名川町、亀岡市、南丹市、京丹波町

賛 助 会 員 かやの中央まち育て協議会、NPO街づくり支援センターみのお、稲西自治会、小野原自治連合会、宮崎自治会、若宮自治会、神楽自治会、岩戸自治会、大西自治会、日の丸自治会、大東自治会、日の出自治会、粟生間谷地区、奥自治会、川合自治会、中村自治会、山之口自治会、粟生新家自治会、粟生外院自治会、北浦自治会、芝自治会、今宮自治会、西宿自治会、今宮南自治会、如意谷第2自治会、箕面如意谷住宅自治会、今宮東自治会、白鳥自治会、石丸自治会、唐池公園地区自治会、今宮コミュニティクラブ、箕面東自治会、メゾン箕面青松園前自治会、西小路第三自治会、坊島泉自治会、新生自治会、坊島自治会、上止々呂美自治会、船場西地区連合自治会、西宿二丁目自治会、（一社）箕面青年会議所、箕面ライオンズクラブ、箕面船場ライオンズクラブ、箕面ロータリークラブ、箕面千里中央ロータリークラブ、箕面FIMまちそでて㈱、箕面市観光協会、（公財）箕面市メイプル文化財団、（公財）箕面市国際交流協会、（一社）大阪府宅地建物取引業協会箕面市支部、箕面測量設計協会、箕面市都市開発㈱、緑遊新都心㈱、東急不動産㈱、ウィル包装㈱、大和ハウス工業㈱北摂支店、弘伸商事㈱、㈱シェウロウライフ、たんぼの綿毛の会、箕楽会、箕面市建設業協同組合、箕面市管工事業協同組合、大阪大学外国語学部、聖母被昇天学院、大阪青山大学・短期大学、梅花女子大学・短期大学部、関西大倉中学校・高等学校、追手門学院、早稲田摂陵中学校・高等学校

お問い合わせ

北大阪急行線延伸推進会議（箕面市 地域創造部 鉄道延伸室）

〒562-0003 大阪府箕面市西小路4丁目6番1号 TEL:072-723-2121（代）

FAX:072-722-7655